

可燃ごみの共同処理について

本市は、日野市のご理解のもと、国分寺市とともに、可燃ごみの共同処理を行う一部事務組合「浅川清流環境組合」を平成27年7月に設立し、新可燃ごみ処理施設の平成32年度の本格稼働をめざして、事業を進めています。

また、新可燃ごみ処理施設の建設予定地は、現在の日野市クリーンセンターの敷地内となることから、市民の皆さんには、施設周辺にお住まいの皆様をはじめとした日野市民の皆様および関係者の皆様へ感謝の気持ちを忘れることのないよう、

さらなる、ごみの減量・資源化の推進に取り組んでいただくようお願いします。本市としては、今後も与えられた責任を誠実に果たすべく全力を尽くしてまいります。

〈施設概要〉

所在地	日野市石田一丁目210番地の2
施設規模	228 t / 日 (114 t / 日 × 2 炉)
処理方式	全連続燃焼式ストーカ炉

〈今後の予定〉 【環境影響評価】

平成28年度	評価書作成・縦覧（閲覧）
平成29年度	事後調査等

【施設整備】

平成28年度	事業者選定
平成28年度～平成31年度	設計・建設・試運転
平成32年度	本格稼働



くるカメ大作戦 チェックリスト(食品ロス編)



「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。日本では現在一人当たり1年でお茶碗164杯分の食べものを無駄にしているといわれています。大切な資源の有効活用、ごみ減量への配慮からも食品ロスを減らすことが必要です。どのくらい食品ロスの削減が出来ているかチェックしてみましょう。

- 冷蔵庫の中を確認してから買い物している
- 食べきれぬ量だけを調理する
- 食べられる部分を過剰に捨てない
- 余った食材を利用している
- 冷凍保存を活用している
- 定期的に冷蔵庫の整理をしている
- 賞味期限と消費期限の違いがわかる
- 外食でも残さない

0～2個チェックのあなたは…

食品ロスを減らす初心者だギッ。冷蔵庫の中を確認するなど、まずは身近なことから始めるギッ!



3～6個チェックのあなたは…

なかなかやるじゃないか…だが、もっと取り組みば食品ロスも減り、節約もできるぞ〜グハハハ!



7個以上チェックのあなたは…

食品ロスを減らすスペシャリスト!今のライフスタイルを続けていこう!



みなさんはいくつチェックができましたか?あまりチェックがつかない方は、まずは身近で食品ロスを減らせることはないか考え、積極的に取り組んでいきましょう。たくさんチェックがつかない方は、今後も食品ロスを出さないライフスタイルを継続していきましょう。また、家族の人や周りの人たちと一緒に、食品ロスについて考え、取り組んでいくことも大切です。

くるカメ大作戦チェックリストは市ホームページでも随時公開します。今回だけでなく、継続してチェックすることで、食品ロスについての意識が高まり、ごみを出さないライフスタイルの継続にもつながります。



ごみ分別アプリ配信



ごみの分別方法や収集曜日などを確認できるスマートフォン向けごみ分別アプリ(無料)を配信しています。
※ 通信料は利用者の負担となります。

ダウンロードはこちらから



iOS版



Android版

有害ごみの分別の徹底をお願いします

市のプラスチックごみに電池が混入していたことから、日本容器包装リサイクル協会指定処理施設で資源化処理中に発火する事故が、この1年のうちに複数発生しています。大きな事故には至っていませんが、一定時間リサイクル処理を滞らせています。火災や爆発が起こると、作業員の方のけがや施設を損壊する可能性も高く、大変危険です。

乾電池は透明か半透明の袋に入れて、有害ごみとして出してください。小型家電やおもちゃなどに入っている電池が取り出せない場合は、燃やさないごみとして出してください。ボタン電池や充電式電池は市では回収しません。回収を行っている販売店にお持ちください。

ご理解とご協力をお願いします。



処理中に発火した乾電池